

●2025年度 学校推薦型・総合型・その他の選抜 筆記試験における「出題意図」

入学者選抜種別	学部	学科	筆記試験	出題意図
全国キリスト者推薦	教育人間科学部	心理学科	小論文	心理学を学ぶことで獲得できる知識や技能、および思考力や判断力を問う。また、人の心や多様化していく現代社会が抱える問題に関心を持ち、それに対する自身の考えを的確に説明する表現力を評価する。
	経済学部		小論文	問1は、主イエスの奉仕と犠牲の姿から、受験者の自分自身の生き方や価値観を問うため。問2は、現代の深刻な経済問題である貧困問題について、その基本知識と解決のための政策を、キリスト者の視点で記述できるかを問うため。
	法学部		小論文	青山学院大学法学部で4年間学び続けるために必要とされる基本的な英文・日本語読解力および論述力、またキリスト者推薦を受けるに値する聖書的知識を測り、福音主義教会での信仰生活を確認することを意図している。
	経営学部		小論文	本問は、経営学に関連する領域の学問を専門的に学ぶにあたり、企業の誤った行動が社会および企業経営に与える影響への理解とともに、法令を遵守する必要性への理解を問うことを出題の意図としている。
	国際政治経済学部		小論文	キリスト教の重要な概念を正しく理解し、咀嚼して、自らの言葉で第三者に伝達することができるかを問うた。また、キリスト教関連の英語による文章を的確に理解し、要点を正確に把握して、簡潔に論じられるかを問うた。
	総合文化政策学部		小論文	聖書のメッセージを教会の信仰に則して読み取るために必要な理解力、英語の文章を読解するための語学力、そしてこれらを基盤としてキリスト教文化の社会的意義に対する使命を提示する思考力を評価することを目的としています。
	理工学部		小論文	(2025年度志願者なし)
	社会情報学部		小論文	問題 1 ではAIという現代社会の問題、自身のキリスト教信仰、学部での学びを関連づけ、特定の聖書箇所に基づき、定められた字数で論述する力を測ること、問題 2 では新約聖書の基本用語についての理解度を測ることを意図した。
	地球社会共生学部		小論文	(2025年度志願者なし)
自己推薦	文学部	英米文学科	小論文(英語および日本語)	英語による論説文を読み、議論の要点を日本語で説明できること、また論説文の議論に基づき、自分の考えをわかりやすく英語で表現し、伝えることができることを試す問題である。英文の論理構成を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		史学科	歴史分野の学力を問う論述	日本史、東洋史、西洋史、考古学の4つの設問から選択した1問について、その分野における重要な歴史的事象についての史料・文献の読み取りを通じて、基本的な知識・技能および思考力・判断力・表現力を問う。
		比較芸術学科	芸術に関する基礎知識	・高等学校での学習を踏まえ、芸術作品および芸術史に関する正確な知識を身につけていることを確かめる。 ・芸術作品に深い関心を持ち、自らの考えを論理的に表現する力をはかる。
	地球社会共生学部		小論文	問1は、英文の資料をもとに、データを正確に読み取れるかどうかを問うている。 問2は、地球社会共生学部の理念をもとに、共生が必要だと思われる課題を自分ごととして発見し、自分の行い得る範囲内でその課題を解決するための方法を導き出し、他者へ論理的に説明することができるかどうかを問うている。
	コミュニティ人間科学部		小論文	地域で生じうる課題の1つを題材として取り上げた。文中で挙げられている複数の問題点が理解できているかどうかと、その問題のいずれかに焦点を当てて、対応策などの意見が論理的・具体的に述べられるかを問うた。
海外就学経験者	法学部	ヒューマンライツ学科	小論文	一般的なテーマに関する文章を読み、海外就学経験から得た視点をもとに、以下の能力を有しているか総合的に評価する。 1.与えられた文章を読み解く力 2.論理的でかつ柔軟な考察や分析する力 3.自分の意見を整理し的確に表現する力
	国際政治経済学部		小論文（日本語）	以下の点の審査を意図した（2問共通）。 ・身近な環境の事象を概念的・抽象的なキーワードと結びつけながら、論理的に議論を組み立て、説得力のある文章で記述する能力。 ・現状の問題点を的確に把握し、解決策を主体的に提案する問題解決力。
	理工学部	数学		高等学校で学んだ数学に関する基礎的な知識と応用力を問う問題を出題した。 大問 1 は、各分野における基礎的な事項の理解を確認する問題である。 (1)二次方程式、複素数；(2)三角関数（正接関数と加法公式）；(3)微分の計算 大問 2 は、微分法の理解と応用力（最大・最小問題）をはかる問題である。 大問 3 では、三角関数のグラフの様子を理解しているか、またグラフに囲われた図形の面積を積分法で正しく計算できるか、などを問うた。
			物理	理工学部における基礎科目や専門科目を学ぶ上で必要な高等学校卒業相当の物理の知識を有していることを確認することを意図している。特に高校教科書に載っている力学と電磁気学の基本的な法則を理解し応用する力を問う。
		化学		高校で学習する化学のうち物理化学、無機化学、有機化学の各分野から、気体を発生する反応、金属イオンの分離操作、有機化合物の構造などについて出題し、化学の各分野の基本事項に関する理解度を問う内容とした。
外国人留学生	文学部	英米文学科	小論文(英語および日本語)	(2025年度志願者なし)
		フランス文学科	日本語（読解）	文学部フランス文学科で学業を始めるのに必要な日本語読解能力を有しているかどうか、また読解した内容に関する自分の考えを適切な日本語で表現できるかどうかを試す問題を出題している。
		日本文学科	日本語・日本文学（古典を含まない）	大問一は、日本語の文章を題材に、漢字の読み書きや内容の正確な読み取りを記述・選択問題から問うものである。大問二は基本的な日本文学史の知識についての選択問題である。大問三は与えられたテーマについての記述問題で、思考力、論述力を判定するものである。
		史学科	論文（歴史学に関する基礎知識）	東アジア世界の歴史について、特定の時代や地域の間での政治・文化諸方面での交流や思想の受容（問題1）、あるいは受験生の任意の地域・時代における経済学的問題（問題2）に関する専門的知識の深さを測る。加えて、単なる事実の羅列ではなく、歴史的諸要因に関連づけて理解する力や、設問の要求に応じて自分の知識を的確に文章化する論述能力も、あわせて評価することを意図している。
		比較芸術学科	論文（芸術に関する基礎知識）	受験者における基礎的な芸術作品の基礎知識をはかるとともに、他の文化のもとで生まれた芸術作品との比較を通じて、それらの価値を適切に評価することができるかどうかを判断する。
	教育人間科学部	教育学科	英語	教育学に関する国際的視野を有する人材を育成するため、海外の教育に関する英文読解を通じて基礎的な理解力と日本語による表現力を評価し、多様な教育問題を理解する柔軟な思考力を備えているかを測ることを意図した。
		心理学科	英語	心理学ならびに近接領域の英文・学術文献を読むために必要な基礎的な語彙力、文法理解力、論旨の把握力、そして的確な日本語による説明力を総合的に評価する。
	経済学部		日本語（作文）	日本語表現の特色を日本語で解答させることで、受験生が母国語と日本語の違いをどの程度認識しているか、と、日本語をどの程度正確に表現できるか、とを確認した。それにより日本で大学教育を受けるに値する日本語能力の有無を総合的に判断できるのでは、という意図からの出題であった。
	法学部		小論文（日本語）	社会と人間との関わりについて論じた引用文を読み、①著者の論旨を的確に理解した上で②それに対する自身の意見を説得的に展開できているかどうか、を総合的に評価する。

	経営学部		小論文	経営学部に入学を希望する学生が、（環境への配慮等の）近年の企業が重視している活動について興味を持ち、かつそのような活動が重視されている理由を考えているかどうかを見ていくというのが、本問題の出題意図である。
	総合文化政策学部		小論文（日本語）	日本語での論文作成に必要なリテラシーが問われています。問1では、複合的な citation の能力（直接引用・間接引用・要約の自在な組み合わせ）が、問2では、対象を客観的に据えて意見をまとめる能力が、それぞれ判定されます。
	理工学部		数学	高等学校で学んだ数学に関する基礎的な知識と応用力を問う問題を出題した。 大問 1 は、各分野における基礎的な事項の理解を確認する問題である。 (1)二次方程式・複素数；(2)三角関数（正接関数と加法公式）；(3)微分の計算 大問 2 は、微分法の理解と応用力（最大・最小問題）をはかる問題である。 大問 3 では、三角関数のグラフの様子を理解しているか、またグラフに囲われた図形の面積を積分法で正しく計算できるか、などを問うた。
物理			理工学部における基礎科目や専門科目を学ぶ上で必要な高等学校卒業相当の物理の知識を有していることを確認することを意図している。特に高校教科書に載っている力学と電磁気学の基本的な法則を理解し応用する力を問う。	
化学			高校で学習する化学のうち物理化学、無機化学、有機化学の各分野から、気体を発生する反応、金属イオンの分離操作、有機化合物の構造などについて出題し、化学の各分野の基本事項に関する理解度を問う内容とした。	
スポーツ	文学部	史学科	小論文	スポーツ競技の歴史についての具体的な説明や、その説明に基づいた議論の提示を通して、歴史への興味と知識や、論理的な文章を書く思考力・表現力を問う。
		比較芸術学科	小論文	物事を多面的かつ論理的に考察する思考力と判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を判定する。また、本学科における芸術の学びに対する意欲・関心を有しているかどうかを評価する。
	教育人間科学部	教育学科	小論文	幼児から高齢者に至るまで、誰もが心身の健康や体力・運動能力を維持増進させ、生き生きとした生活を送っていく上での現状や課題に対する理解力、そしてそれらを多面的に解決していくとする思考力や創造力を評価することを意図した。
	法学部		小論文	組織に属するスポーツ選手の不祥事に対する対応の相違がネット世論と深く関わるのか、その相違が生じた理由はどこにあるのかを問題文となっている新聞記事の内容を踏まえてまとめること、今後の選手の不祥事に対してあるべきルールとしてはどうあるべきかを、ご自身の考えとして文章にまとめられるかを確認する趣旨である。
	経営学部		小論文	スポーツについて企業経営や組織マネジメントの観点から考察する出題を通じ、スポーツ活動を経営学部における学びの対象として捉えることのできる教養と視野を備えているか確認することを意図した。
	国際政治経済学部		小論文	学生が、自身の能力を高めるという個人的動機で従事する活動について、社会的貢献という観点から考えを問い、個人と社会の関係を考察し、個人の具体的体験を一般化し、表現する能力を問う意図である。
	総合文化政策学部		小論文	本学部のアドミッション・ポリシーに準拠して、文化、芸術、政策科学、マネジメントなどに係る、広範な専門知識を修得するために、高等学校で修得すべき知識と技能、思考力・判断力・表現力、また意欲・関心・態度のあることを確認する。
	社会情報学部		小論文	スポーツに関連した社会課題の1つに対して、学部の学びの特色と関連づけて解決策を提示することを求めています。このことによって、学部への理解度、学部が目指す人材育成に適合するかどうかを評価することを意図しています。
	コミュニティ人間科学部		小論文	「スポーツマンシップ」の本質的な意味と意義を問う設問である。その歴史的な経緯を設問内で理解するとともに、自分の目指すべきスポーツマン像を整理して述べることによって、その素養を測るものである。
スポーツ（強化指定部制）	文学部	史学科	小論文	スポーツ競技の歴史についての具体的な説明や、その説明に基づいた議論の提示を通して、歴史への興味と知識や、論理的な文章を書く思考力・表現力を問う。
		比較芸術学科	小論文	物事を多面的かつ論理的に考察する思考力と判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を判定する。また、本学科における芸術の学びに対する意欲・関心を有しているかどうかを評価する。
	教育人間科学部	教育学科	小論文	幼児から高齢者に至るまで、誰もが心身の健康や体力・運動能力を維持増進させ、生き生きとした生活を送っていく上での現状や課題に対する理解力、そしてそれらを多面的に解決していくとする思考力や創造力を評価することを意図した。
	法学部		小論文	組織に属するスポーツ選手の不祥事に対する対応の相違がネット世論と深く関わるのか、その相違が生じた理由はどこにあるのかを問題文となっている新聞記事の内容を踏まえてまとめること、今後の選手の不祥事に対してあるべきルールとしてはどうあるべきかを、ご自身の考えとして文章にまとめられるかを確認する趣旨である。
	経営学部		小論文	スポーツについて企業経営や組織マネジメントの観点から考察する出題を通じ、スポーツ活動を経営学部における学びの対象として捉えることのできる教養と視野を備えているか確認することを意図した。
	国際政治経済学部		小論文	学生が、自身の能力を高めるという個人的動機で従事する活動について、社会的貢献という観点から考えを問い、個人と社会の関係を考察し、個人の具体的体験を一般化し、表現する能力を問う意図である。
	総合文化政策学部		小論文	本学部のアドミッション・ポリシーに準拠して、文化、芸術、政策科学、マネジメントなどに係る、広範な専門知識を修得するために、高等学校で修得すべき知識と技能、思考力・判断力・表現力、また意欲・関心・態度のあることを確認する。
	地球社会共生学部		小論文	オリンピックにおけるインドのメダル数を題材とした文章を読んでもらい、問いを踏まえて文章の要点を正しく整理する能力、そして文章の内容を理解した上で課題への対応案を自分で考え、具体的な方策を提示する力を評価しました。
	コミュニティ人間科学部		小論文	運動部活動は、長年にわたり青少年の健全育成に貢献してきたが、近年ではいくつかの深刻な社会問題が指摘されている。そのような背景から、運動部活動の加入率の減少の要因を論じることで、課題発見力・論理的思考力を評価した。
	文学部	英米文学科	小論文（英語および日本語）	英語による論説文を読み、論説の内容に基づいて日本語で自分の意見を論理的に表現できること、論説文と関連のある課題について、自分の意見をわかりやすく英語で表現し伝えることができることを試す問題である。英文の主旨を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		フランス文学科	小論文	本年度の出題は、400字程度の短い文章を読み、筆者の指摘について1000～1200字程度の論述を行うもので、筆者の主張および文章全体の論旨の理解を前提に、読解力、論理的な思考力および文章構成能力を見る。
		日本文学科	小論文	日本文学入学に向けての問題意識の高さ、日本文学・日本語と現在の社会状況の関係についての情報収集力と論理的思考力、日本文学・日本語に関する研究の役割について発想の独自性、それらを自分のことばで表現できる力を問う。
		史学科	小論文	自分が興味を持つ、歴史上重要な史跡や世界文化遺産についての説明やそれらに係る歴史的背景に関する論述を通して、歴史に対する関心をもって自ら学びに向かう力と歴史の基礎的な知識、論理的な文章を書く思考力・表現力を問う。
		比較芸術学科	小論文	・課題の趣旨を正確に把握した上で、それに対する疑問や反論を展開できる思考力を確かめる。 ・自己の主張を適切に表現できる力を確かめる。 ・芸術史に関する基礎知識を身につけていることを確かめる。
	教育人間科学部	教育学科	小論文（資格1）	聖句についてどうとらえるか、教育に関する事柄に関連させながら述べることで、資格1のキリスト教学校教育同盟加盟校からの入学者が教育学科で学ぶのに必要な論理的な思考力、判断力、表現力を問うことを意図した。
		教育学科	小論文（資格2）	教育人間科学部教育学科が入学者に求める「人間と社会について、論理的に思考・判断し、自らの考えを適切に表現することができる力」を問うことが出題の意図である。資格2では問題文に示された教育に関する現代の課題について、自分の考えを600字以内で論述することを出題している。
		心理学科	小論文	心理学を学ぶことで獲得できる知識や技能、および思考力や判断力を問う。また、人の心や多様化していく現代社会が抱える問題に関心を持ち、それに対する自身の考えを的確に説明する表現力を評価する。
	経済学部		小論文	現実社会が直面する課題の認識と、データを正確に読み取る理解力について問うている。そのうえで、課題を論理的かつ多面的に考察する思考力と、自己の意見をわかりやすくまとめる構成力や表現力、さらに課題解決のための提案力を評価する。
	法学部		小論文	民主主義を担う市民が担うべき資質について自身の考えを、資料の活用、異なる立場の比較を通じて、論理的に述べるのが求められています。あわせて、複数の資料を結び付けながら、多面的に考察することも期待されています。

指定校推薦	経営学部		小論文	本問は、経営学に関連する領域の学問を専門的に学ぶにあたり、企業の誤った行動が社会および企業経営に与える影響への理解とともに、法令を遵守する必要性への理解を問うことを出題の意図としている。
	総合文化政策学部		小論文	指定校推薦の小論文は、大学での学びに必要な「文章の理解」、「批判的分析」、これらに基づいた「自己の主張」を文章を通して表現可能であるかを判断するために出題した。さらに、文章作成において起承転結を取り入れた構造的作文能力を有しているかを判断するための出題でもある。
	理工学部	物理科学科	小論文	（１）物理学に関連する現象や法則のうち、指定された内容について、文章および図や数式を用いて論理的にかつ分かりやすく説明する能力を問い、その内容の理解度および論理的な正確さを評価する。 （２）報道で紹介された自然科学・自然現象の中から自らの興味を惹く内容を選択し、その内容の論理的説明と選んだ理由の具体的説明から、自然科学や自然現象の理解に関する意欲と正確な理解、および説明能力を評価する。
	理工学部	数理サイエンス学科	小論文	大学入学後に数学・数理科学を学ぶ際に必要となる学力の確認を目的として、高等学校で学んだ数学に関する基礎的な知識と運用力などを問う問題を出題した。
		化学・生命科学科	小論文	自然科学における基本的な量であるエネルギーと、原子・分子のレベルで捉えた物質やマクロな現象との関係を題材として、高校で学ぶ基礎的な内容をどこまで深く理解しているかを問うとともに、思考力や論述力を評価する出題とした。
		電気電子工学科	小論文	近年低炭素社会に向けての再生可能エネルギー発電の大量導入は国家主導で進めてきています。このような背景のもと、風力発電所の導入目標の図表を正しく読み解き、理由を記述することを出題意図とした。
		機械創造工学科	小論文	モノに対する興味を把握するとともに、機械工学という立場から、その対象の開発プロセス、開発する上での課題などを論理的に記述することができるかを評価することを意図して出題した。
		経営システム工学科	小論文	持続可能な地域社会の実現に向けて、新交通システムを導入する意義と課題を整理し、わかり易く説明する能力を評価します。また新交通システム推進の是非について、論理的に思考し判断する能力を測ります。
		情報テクノロジー学科	小論文	情報教育の現状を踏まえ、情報分野で活躍するために必要な大学での学びや主体的な取り組みについて所定分量内で論じさせることにより、受験生の論理的思考力や主体性、さらに情報分野の現状と将来像を踏まえて大学での学びに意味づけができているかを評価すること。
	社会情報学部		小論文	本学部が掲げる「多様性を活かした学問の創造」という理念に関連し、社会的多様性の理解を問う課題とした。自身の経験と出典資料を踏まえた上で、エコーチェンバー現象に陥ることなく、多様性を活かした社会的ネットワークの構築計画を記述することが求められた。
	地球社会共生学部		小論文	現代社会における問題を、提示されている文章と表の内容から読み解き、関連する概念を適用しながら分析し、その上で創造的に解決策を考える。これらの理解、分析、解決策を、明確かつ論理的に記述できることを確認する。
提携校推薦	国際政治経済学部		小論文	他者とのつながり方は多種多様にあり誰でも同じはずなのに、障害者の場合は「介助」しかないと思い込んでいる。その問題や認識の偏りを自覚することで彼らの「生きづらさ」にも思い至り、他者理解や関係性が豊かになっていくという主題への理解度をみた。
	地球社会共生学部		小論文	資料を読み取るために必要な理解力、資料の読み取りを踏まえた思考力、およびこれらの理解力と思考力を前提として現実の問題に対する解決策を提示する問題解決力を評価する意図がある。
キリスト教同盟校推薦	文学部	英米文学科	小論文（英語および日本語）	現代社会における問題を、提示されている文章と表の内容から読み解き、関連する概念を適用しながら分析し、その上で創造的に解決策を考える。これらの理解、分析、解決策を、明確かつ論理的に記述できることを確認する。
		史学科	小論文	（2025年度志願者なし）
		比較芸術学科	小論文	キリスト教・教会の歴史やキリスト教の伝播の歴史などのテーマについて、知識、思考力、判断力、表現力および論述する力を問う。
	教育人間科学部	心理学科	小論文	（2025年度志願者なし）
	経済学部		小論文	心理学を学ぶことで獲得できる知識や技能、および思考力や判断力を問う。また、人の心や多様化していく現代社会が抱える問題に関心を持ち、それに対する自身の考えを的確に説明する表現力を評価する。
	経営学部		小論文	問1は、主イエスの奉仕と犠牲の姿から、受験者の自分自身の生き方や価値観を問うため。問2は、現代の深刻な経済問題である貧困問題について、その基本知識と解決のための政策を、キリスト者の視点で記述できるかを問うため。
	国際政治経済学部		小論文	本問は、経営学に関連する領域の学問を専門的に学ぶにあたり、企業の誤った行動が社会および企業経営に与える影響への理解とともに、法令を遵守する必要性への理解を問うことを出題の意図としている。
	総合文化政策学部		小論文	キリスト教の重要な概念を正しく理解し、咀嚼して、自らの言葉で第三者に伝達することができるかを問うた。また、キリスト教関連の英語による文章を的確に理解し、要点を正確に把握して、簡潔に論じられるかを問うた。
	社会情報学部		小論文	聖書のメッセージを教会の信仰に則して読み取るために必要な理解力、英語の文章を読解するための語学力、そしてこれらを基盤としてキリスト教文化の社会的意義に対する使命を提示する思考力を評価することを目的としています。
	地球社会共生学部		小論文	問題１ではAIという現代社会の問題、自身のキリスト教信仰、学部での学びを関連づけ、特定の聖書箇所に基づき、定められた字数で論述する力を測ること、問題２では新約聖書の基本用語についての理解度を測ることを意図した。
	文学部	英米文学科	小論文	地球社会共生学部のキリスト教推薦生に求められることは、(1)聖書の基礎的かつ本質的理解、(2)その現実的適用、(3)現代世界で起こっている問題の認識、その歴史的背景についての知識、その問題へのキリスト教的対応という視点と思索である。本入試問題ではそれらが問われている。
		フランス文学科	小論文	英語による論説文を読み、議論の要点を日本語で説明できること、また論説文と関連のある課題について、自分の考えをわかりやすく英語で表現し、伝えることができることを試す問題である。英文の主旨を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		日本文学科	小論文	さまざまな文化的、社会的な問題を掘り下げて検討することができるかどうか、またその結果を秩序立て、適切な日本語で表現できるかどうかを試す問題を出題している。
		史学科	小論文	日本語や日本文学に関連する現代の諸問題についての関心や理解力、そうした関心や理解を基とした自分自身の思考力、そしてそれらをまとめる文章力を総合的に問うことが出題の意図するところである。
		比較芸術学科	小論文	自分が興味を持つ、新しい技術や発明についての説明や、それらに関係する歴史的背景に関する論述を通して、歴史に対する関心をもって自ら学びに向かう力と歴史の基礎的な知識、論理的な文章を書く思考力・表現力を問う。
	教育人間科学部		小論文	出題の意図するところは、各自が関心を寄せる具体的作品をあげ、鑑賞体験に立脚した視点からの論述を要求すること、文章力・語彙力はもとより、日頃からどのように美術・音楽・演劇映像に向かい合い接してきたか、関心の度合いと探求意欲の有・無を測る点にある。
	経済学部		小論文	高等学校卒業見込み相当の知識に加え、文章を通して自らの考えを適切に表現できる能力を問うています。本学の特徴を理解し、大学における学びを追求し、人間社会の中で自分自身を成長させる高い意欲を求めています。
	法学部		小論文	経済学部ならびに経済学科・現代経済デザイン学科のアドミッション・ポリシーに基づき、資料を読み解く能力並びに身近な問題について考察し意見をまとめる能力を有しているかを確認することを意図した出題である。
	経営学部		小論文	国が行う経済支援について、あり得る２つの方式の意味を理解した上で、それぞれの背後にある考え方を分析したり、自分の意見を述べたりすることなどを通じ、異なる見解の分岐点をとらえ、論理的な文章で表現する力などがあるかを問うものである。
			小論文	本問題は経営学と科学を題材に受験者の論理的思考能力を問う問題であり、設問1は論理的思考における「物事を分類する能力」を、設問２では「論理を正しくつなげる能力」について扱っている。

系属校推薦	国際政治経済学部		小論文	日頃から社会の諸問題に関心を持ち、ニュースや新聞などを通じて事実を正確に把握しておくことが重要である。加えて、物事を一面的にとらえるのではなく、多角的な視点から考察し、自らの考えを的確に表現する力も求められる。今回の出題は、こうした力を測ることを目的としており、出題にあたっては、本学部の３学科いずれの学問領域にも関わりうる論点を選定した。
	総合文化政策学部		小論文	公共空間における住民参加の意義を、駒沢スケートパークの形成過程から考察させ、賛否のある事象の社会的受容について問う。
	理工学部	物理科学科	小論文	（１）物理学に関連する現象や法則の中から自らの興味を惹く内容を選択し、文章および図や数式を用いて論理的にかつ分かりやすく説明する能力を問い、その内容の理解度および論理的な正確さを評価する。 （２）報道で紹介された自然科学・自然現象の中から自らの興味を惹く内容を選択し、その内容の論理的説明と選んだ理由の具体的説明から、自然科学や自然現象の理解に関する意欲と正確な理解、および説明能力を評価する。
		数理サイエンス学科	小論文	大学入学後に数学・数理科学を学ぶ際に必要となる学力の確認を目的として、高等学校で学んだ数学に関する基礎的な知識と運用力などを問う問題を出題した。
		化学・生命科学科	小論文	化学エネルギーについて、受験生が持つ基礎的な知識を問うとともに、科学的思考力・論理的理解・実生活との関連性を捉える力を論述形式問題によって評価した。
		電気電子工学科	小論文	（2025年度志願者なし）
		機械創造工学科	小論文	機械工学を取り巻く環境に対する理解を把握するとともに、機械工学を学ぶものが一般教養などの基礎的な事柄を学習することの意義を、論理的に記述することができるかを評価することを意図して出題した。
		経営システム工学科	小論文	SNS(Social Networking Service)に関する課題文章の読解力を評価します。大学の学修でのSNS利用を検討し、メリットとデメリットを整理して、情報倫理を踏まえたSNS活用法について論理的思考力を測ります。
		情報テクノロジー学科	小論文	生成AIという、現代社会で急速に普及・発展している情報技術に対して、受験生がその利点と課題を理解し、主体的かつ批判的に向き合う姿勢を持っているか、また所定の分量内でそれらを論理的に説明する能力を評価すること。
	社会情報学部		小論文	近年の重要な社会課題として知られている我が国の孤独・孤立の実態について、複数の異なる角度からの客観的データを正確に読み取りながら、それらを根拠に、論理的に考察する力を試す意図で作成した。
	地球社会共生学部		小論文	普遍原理である、人間の自由と平等に反する規範や慣習、法を持つ国や部族に対して、第三者は強制的に是正する権利を持つか、もし権利が認められるなら第三者とはだれか、を問う問題である。共生について絵空事ではなく、シビアな現実 に即して深く考えることができるかを問っている。
	コミュニティ人間科学部		小論文	英語の教科書におけるジェンダー問題について書かれた文章を読み、それをきちんと踏まえた上で、ジェンダー平等社会を実現していくために必要とされているものは何か、教科書という身近な存在から気づきを得て、自分の考えを論理的に展開していくことを求めている。
2 年編入	文学部	英米文学科	小論文(英語および日本語)	英語による論説文を読み、議論の要点を日本語で説明できること、また論説文と関連のある課題について、自分の考えをわかりやすく英語で表現し、伝えることができることを試す問題である。英文の主旨を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		フランス文学科	小論文	（2025年度志願者なし）
		史学科	英語	（2025年度志願者なし）
			歴史に関する基礎学力問題	（2025年度志願者なし）
	教育人間科学部	教育学科	英語	本学で学んでいる学生にとって、必要とされる程度の英文読解力を問う問題で、分野の偏りがない教育学関連の3題を出題した。3題中2題を選択するもので、3題の英文の長さを揃えており、受験生への公平性も担保している。
			小論文	教育学科 2 年次に編入し学修するために必要な、基礎的知識、思考力および表現力などを問うことをねらいとしている。出題は「小論文」により、「教育学」分野に関して、複数の設問から選択して解答する形式での実施。
	教育人間科学部	心理学科	英語	英語文献を理解するために必要な語彙力や文法理解力、論理構造を把握する力、内容を的確に日本語で説明する力があるかを総合的に評価する。さらに、英語で適切な文章を作成するために必要な、語彙や文法の運用力、基礎的な表現力があるかどうかを総合的に評価する。
			心理学基礎知識	2年生を対象とする専門科目の履修に必要な事前知識の獲得状況を確認するため、心理学の入門書に頻出する基礎的な心理学用語について、その意味を理解し、他者に対して説明できるかどうかを問う。
3 年編入	文学部	英米文学科	小論文(英語および日本語)	英語による論説文を読み、議論の要点を日本語で説明できること、また論説文と関連のある課題について、自分の考えをわかりやすく英語で表現し、伝えることができることを試す問題である。英文の主旨を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		日本文学科	基礎学力問題	文章の読解力や文学史の知識等に関する問題を課すことで、文学部日本文学科に編入し、日本文学・中国古典文学（漢文学）・日本語学・日本語教育学を学ぶうえで求められる基礎的な学力が身に付いているかを問う。
学士編入	文学部	英米文学科	小論文(英語および日本語)	英語による論説文を読み、議論の要点を日本語で説明できること、また論説文と関連のある課題について、自分の考えをわかりやすく英語で表現し、伝えることができることを試す問題である。英文の主旨を理解する読解力と思考力、日本語・英語での表現力を問うている。
		フランス文学科	論文	さまざまな文化的、社会的な問題を一般教養的な知識をもとに批評的見地から検討することができるかどうか、またその結果を秩序立て、適切な日本語で説得的に表現できるかどうかを試す問題を出題している。
		日本文学科	基礎学力問題	（2025年度志願者なし）
		史学科	英語	歴史を主題とした英文の文章を読み、史学科において必要な英語の基礎知識および表現力、また、歴史事項に関する基礎的理解を問う。
			歴史に関する基礎学力問題	史学科に入学した際に希望するコース（日本史・東洋史・西洋史・考古学）に関する問題を選択し、それぞれのコースにおいて必要な知識・技能・思考力・表現力・論述する力を問う。
	法学部	法学科	英語	（2025年度志願者なし）
			小論文	（2025年度志願者なし）